

# 平成27年度第1回白石町

## まち・ひと・しごと創生推進会議 会議録(要旨)

- 日時 平成27年5月26日(火) 午前9時30分～午前11時30分
- 場所 白石町役場庁舎3階大会議室
- 出席者 委員：18人出席、1人欠席  
町：町長、副町長、事務局(別紙あり)

### 1 開会【進行：久原企画財政課課長補佐】

### 2 委嘱状交付(委員を代表して植松淳子氏が町長から委嘱状の交付を受ける)

### 3 町長挨拶

本日は農繁期にもかかわらずお忙しいところを、第1回白石町まち・ひと・しごと創生推進会議に出席いただきありがとうございます。

まち・ひと・しごと創生については、昨年5月8日に日本創生会議が全国896の市区町村を消滅可能性都市として公表し、日本中に衝撃をもたらしました。その後政府は、一連の人口減少問題に取り組み、全国の地方自治体に対して、平成27年度中に人口減少問題に対する総合戦略を策定するよう義務付けました。

本町も消滅可能性都市に名指しされ、町民の不安をあおり沈滞ムードにならないかと心配したところです。このため、昨年10月、県内初の取組として町職員からなる白石町人口・将来問題プロジェクト会議を設置し、様々な検討を行わせてきました。

その結果、プロジェクト会議の提案を基に平成27年度から先行して子育て支援策の拡充を行い、町立あかり保育園での休日保育の実施、小学6年生と中学3年生の学校給食費の無償化などを行いました。

平成27年度は全国的にまち・ひと・しごと創生の総合戦略が進められ、本町も推進会議発足により本格的にスタートします。総合戦略はまちづくりだと考えており白石町の強み、弱みを活かし、農業を基本とした白石町らしい総合戦略ができることを願っています。

メンバーには各分野から結集していただき、さらには公募で7人もの方々に応募していただき、その半分以上が女性ということで非常にありがたく、頼もしく思っています。

今後は数回の会議でご苦勞をおかけしますが、本町のまち・ひと・しごと創生総合戦略策定に関して、色々なアイデア、意見をいただきますようお願い申し上げます。

### 4 委員の紹介 自己紹介中、下記のような意見・提案があった。

- ・白石町には平野があり、空が大きい
- ・白石町は子育てにはいい環境
- ・高齢者や障がい者に優しいまちで住み続けたいまちにしたい
- ・主婦の立場からの意見がまちづくりに役立つのではと思っている

- ・歌垣の郷ロードレースで商店街を走ってほしい
- ・婚活の手伝いをして子育てに優しいまちにしたい
- ・白駒妃登美先生を小学校の授業に呼びたい
- ・あたたかい人たちがいるのは白石町の強み など

5 町担当職員の紹介 名簿下部の職員を事務局が紹介。

6 白石町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱及びその役割について

事務局が説明。資料2の説明。推進会議は20人以内で組織し、任期は2年。総合戦略の期間は平成27～平成31年度の5カ年で、今年度中に策定する。その後の進捗状況の検証などもこの会議で行なう。会議は公開し、会議録をホームページに掲載する。

資料3の説明。白石町の総合戦略は、第2次白石町総合計画を参考にしながら総合計画の個別計画という位置づけで、国や県の総合戦略等を勘案して策定する。また、町議会や推進会議の意見を取り入れる。推進会議は検証までお願いします。町としては、人口・将来問題プロジェクト会議で案を作成し、庁議で案を決定。その後、案について推進会議で議論をするという形。今後の会議はもっと話しやすい雰囲気で開催したい。

(質疑、意見なし)

(町長が用務により退席)

7 協議事項【ここからの進行は会長の百武副町長】

(1) まち・ひと・しごと創生についての説明

事務局が説明。資料4～7。資料4では、国は2060年に人口1億人を確保することを目標。その達成に向けて政策目標・施策を策定した。地方も全都道府県、全市区町村それぞれで人口ビジョン、総合戦略を策定しその達成を目指す。策定に先立って、消費喚起・生活支援型と地方創生先行型交付金が設けられている。白石町では4つの事業を予定しているが詳細は次回説明する。平成28年度からは新型交付金が創設されるが詳細はわからない。

資料5～7は内容を読み上げて説明。

(質疑、意見なし)

(2) 白石町の人口等の状況の説明

住民課長が説明。資料8により白石町の10年間の人口推移を説明。人口は3,523人、約12%減少。世帯数は94世帯、1.2%減少。1世帯当たり人口は0.42ポイント減少。人口減の主な原因は、少子化により出生数を死亡者が上回ることによる自然的な減少、仕事や進学で転出する社会的な減少が考えられる。

年齢別でみると、65歳以上の老年人口が増加し、0～64歳の人口が減少している。高齢化率は30%を超えており、白石町も超高齢化の時代に入っている。

資料9 消滅可能性都市について事務局が説明。社人研の推計では20～39歳女性人口は2040年には38.3%減少すると推計されていた。しかし、日本創生会議が人口流出が止まらなると仮定して推計をしたところ、50.6%となり50%を超

えたため消滅可能性都市と指摘された。

資料10第2次白石町総合計画について事務局が説明。期間は町長任期に合わせて4年とするが、今回は現在の任期と合わせて6年としている。町の人口に対する考え方としては、人口減少を悲観することなく、現実として受け止め、子育て支援や定住促進などの施策により、なるべく人口減少のスピードを緩め、歯止めをかけることに努めるとしている。基本理念は、人と大地がうるおい輝く豊穡のまちを第1次から受け継いでいる。

(質疑、意見など)

委員：資料9の3ページ、鳥栖市の人口は増える推計なのになぜ△がついているのか。

→スペースの都合で割愛しているが、20～39歳女性人口の増減率なので、総人口は増えても女性人口は減っていると推計しているため。

(3) 今後の進め方について

事務局が説明。総合戦略は来年度から計画的に実行するため、予算の確保等が必要になってくる。そのため遅くとも11月くらいまでには策定したいと考えている。概ね月1回のペースで会議を開催したい。まずは人口ビジョンをたたき台として作成することになると思う。並行して、職員からも意見を聴取していく。その他にも各団体それぞれにグループ・インタビュー等を実施して意見を伺いたい。方法は正式には決まっていないが、たくさんの意見をいただきたいと思っている。

5月21日に九州沖縄の担当課長会議が開催された。確定ではないが、来年度からこの戦略の推進のために交付金を確保される予定。予算があって補助があるからやるのではなく、戦略を作って進めることを念頭に置いてほしい。

(質疑、意見など)

委員：1点目は、この会議は公開ということだが、町民の方がこの会議に来たいというような雰囲気づくりをしてほしい。また、広報も工夫して、たくさんの方に来てもらうような会議にしてほしい。議会のような雰囲気になってはまずいと思う。2点目は、資料6—II—1の検証で「縦割り」の弊害があったようだが、役場でもその弊害をなくすためにどういう考えを持っているか。

→広報については、広報紙やホームページなどで公開していく。委員さんもミニコミ誌を活用して広報していただきたい。

また、資料6は国の弊害として書かれている。町にもあてはまると言われるかもしれないが、それほど大きな弊害は出ていないと思う。

委員：個人的な希望を言えば、戦略には数十年の将来像がかかってくるので、役場の1組織での話ではなくて、例えば課長の中から代表者を決めてその人の決定には町長も従うなどの強力なリーダーシップを持たせるような組織づくりをしていかないと、せつかくの議論がしぼんでしまいかねない。極端に言えば、町長さんもこの会議での決定事項には従ってもらうくらいの気持ちはある。

→貴重な御意見ありがとうございます。町長はこの会議のメンバーではないが、今後

の会議にも極力出席していただくように調整します。

組織の件も、県は3月までは兼務だったが、4月からは専門の課を設置している。他市町もされているので、今後の検討課題である。

国も人づくりが必要だと言っている。プロデューサーを派遣したり、コンシェルジュ制度なども行なっている。

委員：今日の資料でも人口の資料があるが、生産年齢人口の64歳を5歳プラスして、白石町独自のデータを持つのも必要なのでは。そういった発想の転換が必要なのでは。

#### （4）委員からの提案等意見交換について

事務局が説明。今後の会議でも意見をいただく機会はあるが、今日も何かあれば皆さんから話をさせていただきたい。

委員：合併して10年を迎えるにあたって、地域はどうかかわからないが、商工会では旧町のしこりが残っているように思う。祭りなどのイベントも3箇所であっているので、そういう思いは無くして白石町が一体となつての盛り上げが大事だと思う。

委員：白石町ならではの食材を使ってB級グルメを作ったらいいと思う。また、町民皆が取り組めるようなことがないかなと考えてみたが、百貫橋や住ノ江橋を越えたら玉ねぎの匂いがするくらい作付があっているので、来年あたりから軽トラックのアンテナに葱坊主を差してみるなどすれば、白石の車だと一目でわかる。ちょっとしたことでも町民皆で取り組めばおもしろいし、関心を持ってもらえるのでは。今個人的にアンテナに差している。白石町ならではのなので、メディアに取り上げられるかもしれない。

→食材に関して、コマーシャルで「須古寿司」が出ていた。見た人は白石を通る時に須古寿司を食べたいと思ってもどこにあるかわからない。コンビニに出せば情報の発信につながるのではと思う。そういった意見でも良いと思う。

委員：B級グルメで、小さい子供から大人のお酒のシメまで作って楽しむことができればいい。

委員：福富の「野々香」さんが開発されたドレッシングは東京から来た方に好評で5本くらい買って行かれた。こんなことでも情報発信につながる。食材も豊富なので、ぜひどんどんやってほしい。

委員：白石町で菜種油の生産に取り組まれている方から試供品をもらった。自営業で自然食の料理屋と他所から仕入れた菜種油も扱っている。国産で白石町産で、しかも絞っているものは大変貴重。一番搾りはクセがあり使いにくいところもあるが、油屋さんなら製作過程で違いがあるならもったいないので、勉強する価値がある。

委員：自分も6次産業を始めたばかりで、ドレッシングの研究をしている。どのドレッシングを見ても結構玉ねぎは入っている。産地なのに「野々香」のドレッシングしかない。圃場に山積みされている商品にならない玉ねぎやレンコンを使って、おいしいものを作って外に発信できたら白石の魅力につながると思う。食にはみんな食いつく。おいしいものや安全なものはなおさら。それで人を引き付けられたらと思う。

委員：私もそう思う。人を引き付けるものをアピール場として、イベントの開催がいいと思う。他市町ではマルシェなどに行くが白石町ではしたことがない。内々で盛り上がるのではなくて、町外や県外からも来てもらえるような企画を提案していきたい。

委員：出身が兵庫県だが、白石の野菜を兵庫に送るとすごく喜ばれる。一番喜ばれたのはスイートコーン。白石町では当たり前にあるものが、町外から来た人間にとってはすごく魅力がある。もっと子ども連れでも気軽に参加できて、話しやすい雰囲気勢いのあるような話し合いの場を作ってほしい。ゆめてらすなどで子育ての悩みを相談しているところに、役場から来てもらって話しているのを聞いてもらうのも効果的な手段じゃないかと思う。また、佐賀県に初めて来たときは、夫の勤務の都合で唐津市の松島に住んでいた。3月に採った島のワカメを販売しているが、白石の玉ねぎと時期が合う。町外から白石にお金を払って農作物の収穫体験に来たりしている。外から見ると白石は豊かで魅力があるので、そういう声を聞いてもっと繋げてもらえたらと思う。ワカメと玉ねぎなど色んな所とコラボしてマルシェで振る舞うなどすれば玉ねぎもドレッシングも買ってもらえるのではないかと考える。

委員：こんなすばらしい意見を町長さんに聞いてもらえなくて残念だが無駄にしないしてほしい。もともと住んでいる人間にはわからないので、貴重な意見を聞かせてもらった。

会長：この会議の結果は、会議録を作って町民の方にもお知らせしますし、町長にはもちろん伝えます。この会議の結果も町長は尊重していただけるものと思っている。貴重な意見ありがとうございました。

6次産業推進専門監：いろいろな話を聞いて、まさにそう思っている。白石町では道の駅をつくように計画している。策定委員を女性の方の意見をたくさん出していただきましたので、そういった関係を作りたいということで、準備検討委員会を設立していてその中でも多数の女性に入ってもらっている。買い物は女性目線で作るのだから委員には女性に多く入ってもらったのと、今まで白石町は農産物の供給基地というスタンスだった。しかし、これからは人口減少によって少なくなっていくので、外から来ていただけないと買えないということができたらと考えて地域の活性化を兼ねて作るようにしている。今日、たくさんの意見をもらったので参考にさせていただきます。

委員：白石の農作物は福岡に行っても有名で、ああいう所に住んでみたいとか、遊びに来た友達がこういうところにお嫁に来たいという話をするので、食材を使って出

会場の場や婚活のイベントをして、おいしいものを食べれる事をアピールするのもいいのでは。食材を使って人を呼んで、それを婚活につなげていければ。最終的にはメディアを利用すれば人も集まると思う。結婚して住みたいと思っても仕事など実際はいろんな問題はあると思うが、まずは出会って町民になってもらい、住みよいまちを作っていければと思う。

会 長：時間も迫ってきましたが、たくさんの意見が出た。白石町がもっと一体となったまちづくりができないか、そのために何かイベントができないかなど。また、地元の食材・加工品の PR とその情報発信、さらに新しいものの開発など。こういったものを使ったイベントや婚活をできないかなどを出してもらった。これらについては、次回以降の会議の中で話す機会を作りたいと思う。また、総合戦略にも活かしていきたいと思う。

#### (5) その他

事務局：2回目以降の会議の開催について。時間帯や曜日はいつごろがいいか要望があれば教えてほしい。

委 員：日中のこの時間帯は稼ぎ時なので、できれば夕方以降とか夜の方がいいが、主婦の方がいらっしゃるのではどちらがいいのか。

委 員：昼休みの時間帯はどうですか。

委 員：1時間で終われるならそれでいいが。

会 長：1時間では終われないと思うので少しオーバーする。11時半～1時半という提案もあっているがどうでしょうか。

委 員：次回の開催日は決まっているのか。

事務局：6～7月に開催予定ではあるがまだ決まっていない。なるべく早めにお知らせする。

委 員：次回の開催までに私たちは何をすればいいのか。宿題が欲しい。

事務局：事務局から皆さんにお会いしたりして、個別に意見をお伺いしたい。また後日連絡するが、紙に書いて提出してもらおうなどの方法があるので再度こちらからお願いする。

委 員：玉ねぎの商品化したいものがあるので、委員の皆さんに試食していただきたいが、どうでしょうか。

事務局：皆さん大歓迎だと思います。

会 長：時間帯は11時半～1時半という時間帯は大丈夫ですか。銀行や先生方は大丈夫ですか。時間帯は昼休みなどではなく開催したい。

委 員：ゆめてらすの一時預かりが9時からしか利用できないので、9時半からの開催はとてありがたい。

会 長：今回は概ね9時半くらいからの開催として計画したい。皆様方お忙しいとは思いますが、よろしく願いいたします。

委 員：机の配置は毎回こんな感じになるのか。

事務局：4～5人くらいの島を作ろうかなと思う。

会 長：意見が出やすいように考えたい。

委 員：やわらかい演出をしていただけたらと思います。

会 長：長時間になりましたが、素晴らしい総合戦略ができあがるまで皆様方よろしく願います。今回は6月～7月にかけて、なるべく早くお知らせしたいと思えます。皆さまお疲れさまでした。

閉 会